



デイサービスが休みの日曜日の日は、車椅子と一緒に散歩を楽しむ職場の牛舎に行った時の1枚

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2015 11

発行・編集 ■大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 ■ホーテ印刷株式会社
※広報おおづは印刷に配慮して再生紙と植物油インクを使用しています。

UD
FONT
見やすく読みまちがえに
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

「一生懸命育ててくれた恩返しがしたくて」

やすなが
安永さん夫婦（杉水）
ひろあき
博昭さん たか子さん



杉水で牧場を営む、安永さん夫婦。夫・博昭さんと妻・たか子さんの2人は、忙しい仕事の傍ら、母・チサエさんを在宅で介護している。今回はそんな安永さんご夫婦をクローズアップする。

朝は午前5時30分に起床。作業着に着替えてすぐに牛舎に向かう。搾乳をする乳牛は45頭、そのほかの牛は約100頭におよぶ。午前7時30分、朝の搾乳とエサやりが終わるとすぐに朝食をすませてチサエさんをデイサービスへ送り出す。一息ついたら、畑の仕事、牛舎の掃除、牛のエサづくりなどに取り掛かる。合間に昼食をとり、夕方まで仕事を続ける。チサエさんがデイサービスから帰ってくる。その後、牛舎では夕方のエサを食べさせ、搾乳が始まる。これが安永さん夫婦の一日の仕事。酪農は生き物を相手にするため、休みはほとんどない。「20年間」この1日の繰り返し。

チサエさんは、20年前の9月16日、歌の発表会の練習中に倒れた。安永さん夫婦は当時は振り返る「一時はどうなるかと思いましたが、下半身はマヒしたものの奇跡的に一命を取り留めました。近所の人の助けや病院の先生のおかげ、感謝しきれません。」在宅での介護について「一生懸命育ててくれた、たった一人の母親に少しでも感謝を伝えたくて」と博昭さん。「決めたときは早かったです。それに、20年はあっという間でしたよ」。たか子さんは、はにかんだ。

からのくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立てることができます。お気軽にお問い合わせください。
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。



QRコード

こころの声

▼「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」▼厚生労働省が2008年に定めた、介護の日が11月11日です。今回、安永さんご夫婦取材しました。▼いまだにアンテナを張り巡らしきれないところに紹介していただきました。▼これは、あくまでもひとつの介護の形です。なにが良くて悪いということはないのですが、介護を続けているという話には素直に「すごい」と感じました。11月22日は「いい夫婦の日」です。ぴったりだと感じました。(IDEO)

11

NOVEMBER 2015

今月の表紙

10月18日に救済れの中で行われた第17回福祉祭りの一コマ。大津少年少女合唱団の歌声は澄み切った空に響いてとてきれいで時間を忘れてしまいました。

今月のみどころ

大津元気くんの「ライオンパー」ってなに?④

ライオン元気くんと学ぼうライオンパーの第4回

平成26年度 まちの決算

町のお金がどのように使われたのかをまとめた家計簿

大津のことがもっと好きになる情報誌

おおづ

広報

